

Cavallo vol.32

この夏最新！イメージ調査

清祀 vol.40

Image Ranking

Horse ver.

#賢そうな馬

- 1位
- 2位
- 3位

#イケメン/かわいい馬

- 1位
- 2位
- 3位

#人から愛されている馬

- 1位
- 2位
- 3位

#できる馬

- 1位



人参ストレッチ開始しました!

今年もやります!
馬紹介



下村 優斗 (工学部 第一類)

山崎 太陽 (教育学部 第5類 教育学系コース)

小説家現る?!?!
注目のP26



全日に向けて調整中↑

Cavallo

ご挨拶 — p3

現在の活動報告 — p4

大会成績報告 — p5～p7

馬匹紹介 — p8～p16

部員プロフィール — p17～p21

新入部員紹介 — p22～p26

4年間の軌跡 — p27, p28

企画 — p29～p31

会計報告 — p32

清祀

指導者一同より — p33～p38

特集 — p39

総合馬育成の道Ⅱ — p40

会員の皆様からの近況報告 — p41～p46

部員数、大幅増！！

監督 木内 啓司

『監督、1年生が全部で18名入りました!!』

えっ！？これまでの部員が全部で14名なのに??

令和4年度は、一時、なんと部員数が32名を数えました。

この活況に嬉しい反面、どうやって練習させてやったら良いんだろう…と頭を抱える毎日が続いています。

その傾向はどうやら全国的のようで、中四国地区では鳥取大学も1年生が25名入り、地方のテレビ番組にも取り上げられたほどでした。動機は？はよりのゲーム？いえいえ、どうやらコロナ禍で新しいことに取り組みたいと考える学生は多い様子、新入部員たちからは前向きな動機をたくさん聞かせてもらいました。

我々指導者としては、そんな部員達に満足の行く活動を送らせるべく、馬の調教や新馬の導入に余念の無い日々を送っております。

今年度の部誌では、会員の皆様からご協力をいただいております千円積立基金を活用して導入した馬たちを、新ためてご紹介したいと思っておりますので、お楽しみに！！

さて、あらためまして清社会員の皆様、そして広大馬術部を応援してくださる全ての関係者の皆様、馬術部がコロナの影響で経済的にも活動面でも厳しい状況にある中で、ご寄附をはじめとした様々なご支援をいただき、誠にありがとうございます！

今年度の夏季中国・四国学生馬術大会においては、学典競技（ハイクラス）部門において、広大は総合優勝、12連覇を達成いたしました。一般競技（ロークラス）部門では、惜しくも鳥取大学の後塵を拝しましたが、まずは来る秋の全日本学生馬術大会（於兵庫県三木HLP）において成果を挙げることを、そして次年度には完全優勝の奪還を目標に、コロナ禍に負けず取り組んでいきたいと思っております。

最後に、夏季大会直前の部内戦での集合写真をお届けします。人数、多いです！

どうぞ皆様、今後とも広島大学体育会馬術部への熱い応援をいただきますよう、馬術部を代表して心よりお願い申し上げます。



夏季大会前部内戦後に12連覇を誓って全員で（R4.8.7）

現在の活動報告

感染症拡大から3年目に入り、当時1年生だった私たちも3年生となりました。今年は様々な制限も緩和され県外の競技会にも積極的に参加することができ、その結果見事夏季中四国学生馬術大会学典競技にて12連覇を達成することができました。この数年思うように活動できていなかったことによる人馬の経験の少なさも改善しつつあります。

もう1つOBOGのみなさんに自信をもってご報告できることは今の1年生たちです。この2年感染症拡大により非接触という手探りの中の新勧活動でしたが、これまでの反省と部員たちの努力により今年は18名もの1年生を迎え夏季大会を終えることができました。大会期間中も1年生たちが競技補助員や厩舎作業に積極的に取り組んでくれたおかげで我々選手たちは競技に集中し、総合優勝を手にすることができました。これからは彼らが未来の主力として広島大学体育会馬術部を総合優勝へ導いてくれると思います。

まだまだ感染症は収束せずマスクが手放せない日々が続いていますが、私たち馬術部は感染症拡大以前の活動を取り戻しつつあります。これも馬術部を応援して下さる皆さまのご支援ご協力あってのものです。今後も感謝の気持ちを忘れず部員一同「国立大学ナンバーワン」を目指して努力し続けます。繰り返しになりますが広島大学体育会馬術部へのご支援本当にありがとうございます、これからも応援よろしく願いいたします。

広島大学体育会馬術部部員一同

2022年春期中四国地区学生馬術大会

結果 春季 14連覇

・団体順位

1位	広島大学	110pt
2位	広島工業大学	39pt
3位	岡山大学	35pt

・個人順位

1位	荒川竜芳	広島
2位	角田奏絵	岡山
3位	曾我部拓真	岡山

・馬匹順位

1位	清姜	広島
2位	生喰	岡山
3位	清凧	広島

・学生賞典馬場馬術競技

1位	荒川竜芳	清姜	広島
2位	曾我部拓真	カイテキZ	岡山
3位	西野宗一郎	清熊	広島

・馬場馬術競技 L1課目

1位	角田奏絵	岡山
2位	右田明日香	広島工業
3位	荒川竜芳	広島
6位	神門裕季	広島

・馬場馬術競技 A4課目

1位	内田那々子	清香	広島
2位	右田明日香	鶴鳴	広島工業

・馬場馬術 A3課目

1位	吉田翔	ジュピテール	岡山理科
2位	須田隆也	旭晃	岡山理科
3位	吉田翔	旭晃	岡山理科
4位	清水香月	清熊	広島
5位	宮崎詩織	清盛	広島
7位	茜知樹	清姜	広島

・馬場馬術競技 A2課目

1位	音百合子	カイテキZ	岡山
2位	佐々木美緒	清凧	広島
3位	原田 愛実	生喰	岡山
4位	白井心大	清熊	広島
6位	竹田仁実	清香	広島
8位	大村昌平	清熊	広島
9位	鎌谷陽菜子	清凧	広島

・学生賞典障害飛越競技

1位	荒川竜芳	清姜	広島
2位	角田奏絵	生喰	岡山

・小障害飛越競技 A

1位	神門裕季	清凧	広島
2位	荒川竜芳	清香	広島

・小障害飛越競技 B

1位	西野宗一郎	清将	広島
2位	茜知樹	清姜	広島
3位	廣瀬雅恵	清凧	広島

・小障害飛越競技 C

1位	茜知樹	清将	広島
2位	加藤小太郎	鶴晴	広島工業
3位	須田隆也	旭晃	岡山理科
5位	廣瀬雅恵	清香	広島
7位	佐々木美緒	清凧	広島

・小障害飛越競技 D

1位	宮崎詩織	清将	広島
2位	佐古帆乃香	鶴範	広島工業
3位	曾我部拓真	旭晃	岡山理科

・小障害飛越競技 E

1位	田川千晶	鶴範	広島工業
2位	鎌谷陽菜子	清凧	広島
3位	宮崎詩織	清盛	広島

・クロス障害飛越競技

1位	白井心大	清盛	広島
2位	加藤小郎	鶴鳴	広島工業
3位	坂本正人	生喰	岡山

・スラローム競技

1位	伊藤暖人	清盛	広島
2位	猪熊太陽	清盛	広島
3位	安原ひまわり	ジュピテール	岡山理科

2022年夏季中国四国大会結果

結果 夏季 12連覇

・学典競技

総合優勝	広島大学	90pt
2位	広島工業大学	43pt
3位	岡山大学	30pt

最優秀選手 荒川竜芳 広島

最優秀馬匹 清姜 広島

・一般競技

総合優勝	鳥取大学	53pt
2位	広島大学	39.5pt
3位	広島工業大学	21pt

最優秀選手 加藤小太郎 広島工業大学

最優秀馬匹 ハリウッドレイン 鳥取大学

・学生賞典馬場馬術競技

1位	荒川竜芳	清姜	広島
2位	曾我部拓真	カイトキZ	岡山
3位	中村昴輝	鶴雄	広島工業
4位	角田奏絵	生喰	岡山
5位	西野宗一郎	清熊	広島

・学生賞典障害飛越競技

1位	中村昴輝	鶴雄	広島工業
2位	荒川竜芳	清姜	広島

・学生賞典総合馬術競技

1位	須田隆也	旭晃	岡山理科
2位	荒川竜芳	清香	広島
3位	茜知樹	清姜	広島
4位	西野宗一郎	清将	広島
5位	和食文子	リグヴェエダ	鳥取

・馬場馬術競技 L1課目

1位	右田明日香	鶴翼	広島工業
2位	荒川竜芳	清香	広島
3位	神門裕季	清凧	広島
4位	曾我部拓真	旭聖	岡山
5位	佐古帆乃香	鶴翼	広島工業
6位	吉田翔	旭晃	岡山理科
7位	清水香月	清熊	広島

・馬場馬術競技 A4課目

1位	廣瀬雅恵	清香	広島
2位	宮崎詩織	清盛	広島
3位	室山日和	旭晃	岡山理科

・馬場馬術競技 A3課目

1位	白井心大	清熊	広島
2位	田川千晶	鶴翼	広島工業
3位	池田曜	カジノプレーヤー	鳥取

・馬場馬術競技 A2課目

1位	坂本正人	カイトキZ	岡山
2位	鎌谷陽菜子	清凧	広島
3位	大村昇平	清盛	広島
3位	室山日和	チャンピオンルパン	岡山理科
5位	豊田真弓	蒼雲	愛媛
6位	田川千晶	鶴範	広島工業
6位	岩本朋恵	キュールエキュール	鳥取
8位	猪熊太陽	コーナスフロリダ	広島
9位	杉原汐音	マグリット	鳥取
10位	二瓶陸人	アナリスト	愛媛
11位	下村琳	蒼雲	愛媛
12位	岩井圭吾	アナリスト	愛媛

・中国四国学生レースホースカップ100

1位	加藤小太郎	鶴雄	広島工業
2位	和食文子	ハリウッドレイン	鳥取
3位	山本真菜	カジノプレーヤー	鳥取
4位	茜知樹	清将	広島

・中国四国学生レースホースカップ90

1位	宮崎詩織	清盛	広島
2位	山下翔矢	ハリウッドレイン	鳥取
3位	曾我部拓真	旭聖	岡山
4位	和食文子	カジノプレーヤー	鳥取
5位	礮本健太	ハリウッドレイン	鳥取
6位	荒川竜芳	清将	広島

・中障害飛越競技 D

1位	和食文子	リグヴェエダ	鳥取
2位	則武諒彦	カジノプレーヤー	鳥取
3位	荒川竜芳	清香	広島

・小障害飛越競技 C

1位	礮本健太	ラグランドセーヌ	鳥取
2位	佐古明日香	鶴雄	広島工業
3位	廣瀬雅恵	清香	広島
4位	吉田翔	旭晃	岡山理科
5位	山下翔矢	ハリウッドレイン	鳥取
6位	大村昇平	清盛	広島
7位	渡辺のどか	キュールエキュール	鳥取
8位	宮崎風花	キュールエキュール	鳥取
9位	鎌谷陽菜子	清凧	広島

・小障害飛越競技 D

1位	池田曜	ハリウッドレイン	鳥取
2位	白井心大	清盛	広島
3位	高木康成	マグリット	鳥取
4位	原田愛美	生喰	岡山
5位	木下敢	ベッラヴィータ	鳥根
6位	杉山智彩	マグリット	鳥根
7位	井上巧都	ハリウッドレイン	鳥取
8位	小寺溪	ベッラヴィータ	鳥根
9位	竹田仁美	清風	広島

・小障害飛越競技 E

1位	坂本正人	旭晃	岡山
2位	若井圭吾	アリスト	愛媛
3位	佐古帆乃佳	鶴端	広島工業

・クロス競技

1位	大森晴陽	キュールエキュール	鳥取
2位	杉原汐音	ラグランドセーヌ	鳥取
3位	福吉朝陽	マグリット	鳥取

・スラローム競技

A 1位	河合耕大	キュールエキュール	鳥取
2位	下賀海弘	清熊	広島
3位	川上麻衣	生喰	岡山
4位	佐々木もも	マグリット	鳥取
5位	川本曜	ヴォイスメール	鳥取
6位	藤原さくら	ハリウッドレイン	鳥取
7位	杉本希頭	清香	広島
8位	中島亜希子	清風	広島

B 1位	田村詩花	清熊	広島
2位	寺田真彩	鶴端	広島工業
3位	今村太陽	鶴端	広島工業
4位	濱口倭多	清盛	広島
5位	武田翔	清香	広島
6位	西山昂志	ヴォイスメール	鳥取
7位	畑下立海	鶴端	広島工業
8位	木本夏希	キュールエキュール	鳥取
9位	辰野史奈	清風	広島

・全日本学生馬術選手権

予選通過者 茜知樹 広島

・全日本学生馬術女子選手権

予選通過者 宮崎詩織 広島



馬場部内戦にて（令和4年8月17日）

清凧

- 愛称 きなこ
- 性別 牝馬
- 毛色 栗毛
- 年齢 10歳
- 担当指導者 岩本コーチ、
松葉コーチ、菊池准コーチ



広大馬術部一の食いしん坊と名高い女の子。小さい体で多くの結果を残してきた優秀な子です。

最近みんなからかわいいと言われすぎてかわいいが名前だと思っているフシあり？



清天号 ーテンテンー

担当指導者：岩本コーチ

担当部員：内田、鎌谷、鈴木、武田

性別：騮

年齢：3歳

おだやかかわいい新入りさん。

広大馬術部の中ではダントツの若さを誇る。

しかしごはんを前にすると暴漢に一変する恐ろしい子。

ふくふくほっぺがチャームング！

ほっぺのせいでいつも無口がぱっつぱつなのも愛らしい。

のびしろいっぱい、すくすく育っています。



せいか
清香

愛称：ふれちゃん、せーか
性別：牝馬
年齢：8歳
毛色：栗毛
担当指導者：岩本コーチ

好奇心旺盛な、広大のお転婆娘。
後輩の馬も増えてきて、少しは
お姉ちゃんらしくなってきたかも…？
普段から色々な表情をみせてくれます☆
ぽーっとしている顔がかわいい。
日々、ハードな練習を物怖じしない
性格とめげない心で頑張っています！
大きな動きが魅力的！！
心と体を整えて、これからも頑張るぞ☆

いちばん、
かわいいでしょ。

皆に愛されて



二十

年 清熊

性別：騮
年齢：21歳
愛称：ステラ ステ爺
担当指導者：岡田コーチ
担当部員：西野 清水 白井

とっても温厚で優しいおじいちゃん。
若者に負けず劣らず現役で活躍中！
よく外をみてたそがれているけど、
何を思っているのか、真相は彼のみぞ知る…。

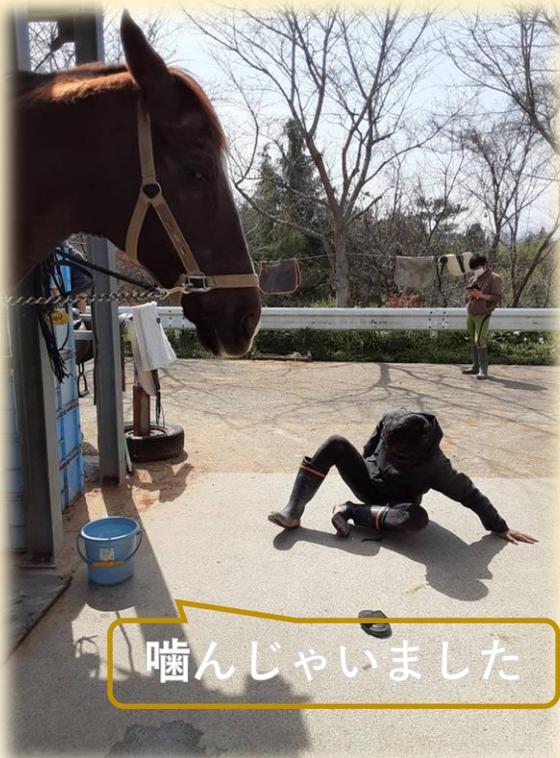


隙さえあれば
どこでもゴロゴロ

見ている人を
ほっこりさせる
癒し系(?)

清将 ~ボストン~

担当指導者：笠置総監督
担当部員：西野・茜・白井
毛色：栗毛
出身地：アメリカ
年齢：20才



噛んじゃいました

趣味：
人とじゃれて遊ぶこと
たまに人を噛むことも…
危険なこともあるけど
そこが愛おしい(らしい)

清詠(せいえい)



愛称：むー
誕生日：2016/05/06
年齢：6歳
毛色：鹿毛
性別：牝馬
担当指導者：松葉コーチ

三姉妹の末っ子むーちゃん♡
大きな黒目がチャームポイント！
クローバーが大好きです。
練習もコツコツ元気にがんばるぞ！

清盛

愛称：ガブ

性別：騾馬

年齢：15歳

毛色：鹿毛

担当指導者：木内監督

担当部員：林（4年）

宮崎（3年）

大村（2年）



広大の中ではベテランに入るガブ。ベテランらしく落ち着いた態度で練習や試合に・・・と普段から部員と共に頑張っています。馬房に入る時や腹帯を締める時はイライラとして噛みつこうとします。このように難しい部分もあるガブですが、障害飛越では物怖じすることなく向かってくれます。この武器を活かして、これからも部員共々精進してまいります。



清姜～キナイ～

担当指導者
笠置総監督

担当部員
荒川、茜

ビビリといわれ10年弱
今年は凛々しい姿を
撮ってもらいました

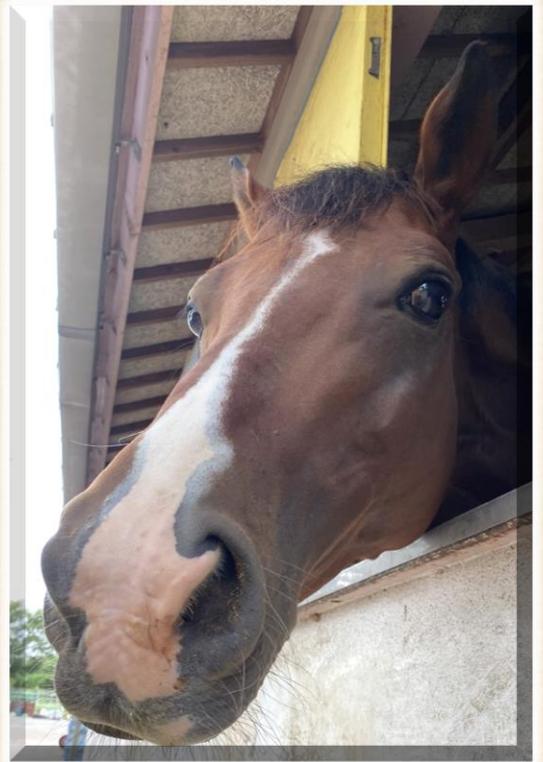
←今年で14歳

ビビリは
卒業ブヒ！

全日には障害、馬場、
総合に出場します！

コーナスフロリダ

昨年、伊勢キングダムから
やってきたTCCホース
かわいい顔に反して、
とっても元気で馬場を
走り回るやんちゃな子
覚えなきゃいけないことは
まだまだたくさんあるけど、
学習能力の高いなすび君！
あなたは大丈夫！



愛称 ナス なすび こーちゃん

年齢 8歳

担当指導者 菊池コーチ 松葉コーチ

担当部員 猪熊 茜

部員プロフィール

4年 荒川 竜芳

学部学科 工学部2類

出身 岡山県倉敷市

役職 なし

趣味 漫画

好きな馬術アイテム

手綱(馬と一番繋がっているものだから)

4年 神門 裕季

学部学科 文学部人文学科

出身 島根県松江市

役職 なし

趣味 テレビ鑑賞

好きな馬術アイテム

イヤernet(カラフルなものが多いから)

4年 西野 宗一朗

学部学科 生物生産学部生物生産学科

出身 大阪府河内長野市

役職 なし

趣味 テレビを見ること

好きな馬術アイテム

無口(特に理由なし)

4年 林 悠太郎

学部学科 文学部人文学科

出身 香川県善通寺市

役職 なし

趣味 野球観戦

好きな馬術アイテム

イヤernet(その馬の個性が出るから)

3年 茜 知樹

学部学科 経済学部

出身 島根県

役職 主将

趣味 長風呂(動画をみながら)、寝ること

好きな馬術アイテム

白キュロ(気合が入る)

3年 内田 那々子

学部学科 生物生産学部

出身 京都府

役職 副将

趣味 音楽聴く

好きな馬術アイテム

ショートブーツ(かっこいいし楽だし、バイト代で新品を買ったので愛着がある)

3年 清水 香月

学部学科 工学部第3類

出身 鳥取県

役職 薬品、装蹄

趣味 漫画

好きな馬術アイテム

イヤネット(おしゃれして
るみたいでかわいい)

3年 廣瀬 雅恵

学部学科 生物生産学部

出身 岐阜県

役職 広報

趣味 バードウォッチング、お昼寝

好きな馬術アイテム

イヤネット(色々なデザイン
があってかわいいから)

3年 宮崎 詩織

学部学科 総合科学部

出身 兵庫県

役職 会計

趣味 ふりかけ開拓

好きな馬術アイテム

赤リボン(可愛さと危険
度のミスマッチ)

2年 猪熊 太陽

学部学科 理学部化学科

出身 広島市

役職 中四国幹事

趣味 人のお家でゴロゴロすること?

好きな馬術アイテム

イヤネット(つけると
きのナスがかわいい)

2年 大村 昇平

学部学科 工学部

出身 兵庫県

役職 馬具係

趣味 読書

好きな馬術アイテム

手綱(馬術っぱいから)

2年 鎌谷 陽菜子

学部学科 生物生産学部生物生産学科

出身 鹿児島県

役職 広報補佐、会計補佐

趣味 美術鑑賞や絵を描くこと、読書

好きな馬術アイテム

鞍カタログを見て値段当てす
るの楽しいです(当たったこと
は無い)

2年 白井 心大

学部学科 生物生産学部

出身 岡山県津山市

役職 飼料、ボロ、オガ、車両

趣味 バイク、釣り、スマブラ、麻雀

好きな馬術アイテム

短鞭(自分のが欲しいから)

2年 竹田 仁実

学部学科 総合科学部国際共創学科

出身 愛媛県

役職 副将、広報、新歓

趣味 韓国語

好きな馬術アイテム

にんじん(馬にもとても
になれるから)

1年 足立 晴史

学部学科 総合科学部総合科学科

出身 兵庫

役職 なし

趣味 アクアリウム等

好きな馬術アイテム

長靴(カッコいい。丁寧に手入れしたら新品みたいに綺麗になってくれるところ)

1年 井上 道

学部学科 工学部一類

出身 広島県

役職 なし

趣味 ダラダラすること

好きな馬術アイテム

イヤネット(馬ごとに色も形も違ってその馬自信を表現させてる気がする)

1年 奥田 沙知

学部学科 法学部法学科

出身 大分県

役職 なし

趣味 お笑い、日本語ラップ、Youtuber

好きな馬術アイテム

無口(付けるのに苦労した思い出や注意された思い出が沢山あるから)

1年 嘉数 広也

学部学科 生物生産学部

出身 沖縄県

役職 なし

趣味 サッカー観戦

好きな馬術アイテム

チップフォーク(馬房掃除の相棒です。馬房掃除で筋肉がつくので実質筋トレ道具です)

1年 上寺 涼介

学部学科 理学部物理学科

出身 広島県広島市

役職 なし

趣味 モータースポーツ観戦、ツーリング、ゲーム

好きな馬術アイテム

短鞭(ジョッキーが追う時に回すのに憧れるから)

1年 下賀 海弘

学部学科 教育学部(第3類国語文化系コース)

出身 兵庫県

役職 なし

趣味 絵描き、アニメ、読書

好きな馬術アイテム

イヤネット(可愛い、個性が出ておしゃれ)

1年 下村 優斗

学部学科 工学部

出身 兵庫県

役職 なし

趣味 夜風を浴びること、将棋

好きな馬術アイテム

ちょうか(シンプルなのにかっこいいから)

1年 杉本 希顕

学部学科 教育学部(第3類言語文科系国語文化コース)

出身 兵庫県

役職 なし

趣味 メイク・筋トレ・茶・料理

好きな馬術アイテム

無口(馬の頭にすっぽりハマるから)

1年 鈴木 夏翔

学部学科 工学部

出身 愛知県

役職 なし

趣味 映画鑑賞・読書

好きな馬術アイテム

フライマスク(装着した見た目が面白いから)

1年 武田 翔

学部学科 工学部第二類

出身 鳥取県

役職 なし

趣味 野球観戦、料理

好きな馬術アイテム

フライマスク(つけてるのを見るとなぜだか可愛いから)

1年 辰野 史奈

学部学科

出身

役職

趣味

好きな馬術アイテム

1年 田村 詩花

学部学科

出身

役職

趣味

好きな馬術アイテム

1年 中島 亜季子

学部学科

出身

役職

趣味

好きな馬術アイテム

1年 濱口 倖多

学部学科

出身

役職

趣味

好きな馬術アイテム

1年 藤田 華

学部学科

出身

役職

趣味

好きな馬術アイテム

1年 山崎 太陽

学部学科

出身

役職

趣味

好きな馬術アイテム

新入部員紹介

あだち はるひと
足立 晴史 (総合科学部 総合科学科)

兵庫の片田舎出身で中高はどちらも全校生徒百名強の学校に通っていたので、入学したら変わったサークルや部活に入ろうと思って、入学後のしおりで紹介されていた馬術部に興味を持ちました。今は入部してから数ヶ月しか経っていませんが、それでも馬という生きものの飼い方、乗り方など、自分が知らない世界・経験ってこんなにあったんだと感じています。先輩や指導者の方をはじめ、ご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、よろしく願いします。

いのうえ しょう
井上 道 (工学部 第一類)

工学部一年の井上道です。昔から動物を飼っていたこともあり、生き物と触れ合うことが好きでした。その影響もあり、馬術部に入部しました。高校時代は将棋部に所属していました。文化部に所属していたこともあり体力的にきついこともありますが馬のことをもっと知りたいという気持ちをモチベーションに頑張っていきたいと思います。

おくだ さち
奥田 沙知 (法学部 法学科 昼間コース)

法学部1年の奥田沙知です。私は元々馬術部に入るつもりは全くなかったのですが、体験乗馬で馬術の奥深さを知り、部内の雰囲気がとても好きだったのでそのまま入部しました。入部後は、経験したことのない過酷な日々運動部経験ゼロの身体と精神が悲鳴をあげていますが、気合と根性で何とか頑張りたいです。私は人より要領が悪く、皆様に度々迷惑をかけてしまっていると思いますが、生暖かい眼で見守ってくださると嬉しいです。

かかず ひろや
嘉数 広也 (生物生産学部 生物生産学科)

生物生産学部一年の嘉数広也です。私が農業と馬術に興味を持ったのは漫画がきっかけでした。受験生の頃から廣大馬術部のことを調べており、入部することを心に決めていました。体験乗馬での初めての馬の上からの景色が衝撃的で、今でも鮮明に覚えています。馬術部の活動は想像よりずっと大変で、馬という大型動物の管理の難しさを痛感しています。てーげーやってもなんくるなりません。この恵まれた環境の中で、指導者や先輩の皆さんから学び、そして大勢の同期と切磋琢磨できることに感謝しています。この経験が自身の成長につながることを信じて、必死に食らいついていきます。

かみでら りょうすけ
上寺 涼介 (理学部 物理学科)

車大好き、バイク大好き、モータースポーツ大好きな上寺涼介です。愛車のGSX-250Rでどこへでも駆け巡ります。F1を2歳の頃から見ています。好きなドライバーはミハエル・シューマッハとフェルナンド・アロンソです。18歳なのでお金は賭けません、競馬も好きです。好きな馬はダンスインザダークです。競馬が好きなのでもともと馬に興味がありました。馬術はまったくやったことがなく、知識も皆無に等しかったので今はとても苦戦していますが、少ない機会の中で成長できるように努力しています。

すぎもと けあき
杉本 希顕
(教育学部 第三類 言語文化系国語文化系コース)

教育学部国語文化コース1年の杉本希顕です。新しいことを始めようと思い、馬術部に入りました。今まで運動部で経験してきた事とは全く違う、先輩方が各役職の仕事を行う姿やコーチ陣とのやりとりを目の当たりにし、良い社会勉強をさせて頂いています。想像よりも大学生活は忙しく、両立が大変に感じる時もありますが、悔いのないよう頑張りたいです。馬にも人にも感謝を忘れずに過ごしていきたいと思えます。

たけた かける

武田 翔（工学部 第二類 電気電子・システム情報）

こんにちは。工学部1年生の武田翔です。僕は小中高と野球をしてきて、大学でもそうしようと考えてました。でも、入学式で馬術部があると知り、そこで興味を持ち体験に行かせてもらいました。そこでこの部活に惹かれ入部しました。馬に関われたり、技術が上達していくことに嬉しく思う毎日ですが、きつく、辛く思う時もあります。ですがめげずに頑張り、やるからには上を目指して、馬と誠実に向き合いながら精進していきたいです。

たつの ふみな

辰野 史奈（法学部 法学科 昼間コース）

法学部一年の辰野史奈です。私は毎年夏に家族イベントとして、乗馬体験に行っていました。そのため馬と触れ合うことが好きで、入学前から馬術部への入部を決めていましたが、いざ入ってみると、今まで自分が関わった馬達とは全然違ってとても驚くとともに少し怖くなりました。しかし、最近では馬の様子も少しずつ分かるようになり、優しく頼りになる先輩方や熱心に指導して下さる指導者の方々に囲まれて、練習が楽しいです。まだまだ未熟ではありますが、日々精進して成長に繋がりたいと思いますので、よろしくお願い致します。

たむら うたか

田村 詩花（生物生産学部 生物生産学科）

生物生産学部1年の田村詩花です。小さい時から、自然と動物が好きでした。高校では山岳部に所属していました。実家では犬と猫を飼っています。大学生になって、一人暮らしを始めたら、どちらもなくなってしまうのがとても寂しく感じました。そんなときに馬術部の存在を知りました。気づいたら、オンライン新歓に参加し、体験乗馬に行って、入部していました。今、毎日がとても充実しています。慣れないことにアタフタすることも多いですが、ここで得られる経験や知識を大切に、これからも日々精進していきたいと思っています。

なかしま あきこ

中島 亜季子（生物生産学部 生物生産学科）

生物生産学部の中島亜季子です。私が馬術部に興味を持ったきっかけは、新歓ホースショーでの先輩たちの姿です。自分よりも大きい馬に乗りこなしているのを見て、自分も馬と触れ合いたい、乗れるようになりたいと考えるようになりました。また、普段は経験できないことを馬術部ではできると思い、挑戦しました。現在、入部して3か月がたち、できるようになったことはたくさんあります。その分、新たな課題も見つかってきました。その一つ一つと向き合っ
てこれからも頑張っていきたいと思います。

はまぐち こうた

濱口 倖多（文学部 人文学科）

文学部1年の濱口倖多です。家の近くに牧場があり、幼いころから動物と触れ合うことが好きでした。高校時代に友人の影響で競馬を知り、そこからサラブレッドのみならずポニーや重種にも興味をもつようになりました。北海道帯広市主催の「ばんえい競馬」を生で見るのが今の夢です。馬と触れ合いたいという目的で馬術部に入部して3か月、馬術の楽しさと難しさを日々実感しています。思うように乗れなくて悔しい思いをすることも多々ありますが、初めて馬に乗ったときの感動を忘れずに成長していきたいと思っています。

ふじた はな

藤田 華（総合科学部 総合科学科）

総合科学部1年の藤田華です。私は中高では吹奏楽部に所属していたのですが、大学に入って今までやったことがないことをしたいと思い馬術部に入部しました。運動部に所属したことがなかったこともあり入部した当初は慣れないことばかりで大変でした。しかし、馬との関わりや部活の運営をする先輩方の姿を見ることでたくさんのことを学ぶことができ充実した大学生活を過ごさせてもらっております。迷惑をおかけすることも多くあると思いますが、馬術部での経験を大切にしてこれからも頑張っていきたいと思います。

しもむら ゆうと

下村 優斗 (工学部 第一類)

自分の家には入ってはいけない。部屋が汚いからである。想像の十倍は汚い。コンロの周りにも物が転がっていて、ピーラーや、近くに置いていたマヨネーズ、洗濯バサミをとかしたこともある。家は息苦しく感じるため、外出していることが多い。桂馬でもなく、角でもなく飛車が好き。

やまざき たいよう

山崎 太陽 (教育学部 第5類 教育学系コース)

教育学部1年の山崎太陽です。私は馬が好きで、触れ合いたいと思ってこの部活に入りました。想像以上に難しいですが、馬の気持ちが少しでも分かるように頑張っています。今までは北海道と長野県に住んでいたのでウィンタースポーツが得意です。

すずき なつと

鈴木 夏翔 (工学部 第一類)

工学部1年の鈴木夏翔です。大学に入ったら何か珍しいことをしてみたいと思い、大学ならではの馬術部に入部してみました。入部して3ヶ月経ってもまだ馬術部の忙しさに慣れておらず疲労が貯まることもありますが、携わせていただいている清天に乗り馬上から景色を見ると気分爽快になります。まだ先輩方のように上手く乗ることができませんが、いつか同じように上手く乗れるようになる日が来ると信じてめげずに頑張っていきたいです。

しもが うみひろ

下賀 海弘 (教育学部 第3類 国語文化系コース)

絵を描くことや音楽を聴くこと、読書が好きですが、好みの基準は自分なりの美しさなるものに依拠しており、拘りが強くかなり面倒な人間です。加えて料理の味にも拘りがあるが、眼高手低にはなりたくない自分で納得できるものを生み出せるようになることが宿願です。局所的な集中を得意とするが、それゆえに日頃から気になる事柄に意識を割いており、他のことが見えなくなっているため、よく注意散漫だと指摘されることがあり玉に瑕。

4年間の軌跡

『周りに支えられた4年間』

林悠太郎

私の馬術部での約3年半は最初から最後まで周囲の人に迷惑をかけ続けてしまいましたが、周りの人が支えてくれたからこそここまで続けることができました。

失敗は恥ずかしながら星の数ほどあります。印象深い失敗はまず1年生の時に騎乗面で中々駈歩が上達せず、練習中ほぼ毎日落馬して、多いときは1日3回落馬したこともありましたが、私自身馬術に向いてないのかなと思うこともありましたが、私以上に諦めずに指導者は馬に乗せ続けてくれました。結果として駈歩も何とか人並みに上達し、諦めないで良かったと感じています。

また上級生になってからは騎乗面だけでなく生活態度面でも後輩に大変迷惑をかけてしまいました。特に遅刻に関してはこれも星の数ほどやらかしましたが指導者からも、そして後輩からもこっぴどく叱られました。4年生になってようやく治りましたが、遅すぎますね（笑）ただこういった生活態度面の指導によって、私の怠惰な生活態度をそのまま社会人として当然の、常識的なものに変えていただいたことはある意味馬術部での一番の収穫とも言えるかもしれません。

『振り返って』

荒川竜芳

もうこの文章を書く時期が来たのかと驚いています。ひとまずは4年間馬術部をやり切れたことを嬉しく思っています。楽しかったこと、苦しかったこと、幾つもあったと思いますが思い返せば楽しかった記憶の方がたくさん浮かんでいきます。それだけで自分の4年間は充実していたのだなと実感できます。馬に乗ってみたい、駈歩をしてみたい、障害を飛んでみたい、そんな小さな目標を達成した時の楽しささえあれば苦しい時も頑張れました。そしていつのまにか出来ることが増え、レベルも上がっていき、どんどん馬術が楽しくなりました。また、私は早くから高いレベルの競技に挑戦させてもらったり主将を任せてもらったりとたくさんさんの経験をさせてもらいました。そのぶん練習が多かったり作業量が多かったりしましたが、全て自分の成長に必要なだったと思えます。馬術部で得た物事への姿勢や考え方は将来必ず自分の糧になることでしょう。

あとの心残りは総合でゴールを切れていないことです。私にとっては今年で3度目の全日学となり、幸いなことに一年生のときからずっと携わって共に成長してきた清香号で権利が取れました。練習も自信も経験も積んだので今年こそはゴールを切ります！

笠置総監督・岩本コーチをはじめご指導くださった指導者の方々・先輩方、共に頑張った同期の3人、最後まで支えてくれた後輩達、いつも応援して下さったOB・OGの皆さまには本当に感謝しております。ありがとうございました。そしてもちろん馬たちもありがとう。下手な人を乗せると動きづらいし、よく分からない指示を出されるし、気分も良くないし、大変だったと思います。私に馬を、馬術を教えてくれた広大な馬たち、本当にお世話になりました。

もらったたくさんさんの恩を少しでも返せるように全日学を精一杯闘ってきます！

『楽しむことの重要性』

西野宗一朗

私がこの馬術部に入部した動機は大学生活をきっかけに新しいことを始めてみたいというありきたりな思いだけでした。動物が好きなのでもなく、最初は他の1年生の人たちと比べて部活に対する熱量が低かったのではないかと思います。そして、なぜ最後まで続けられてきた明確な理由は分からないのですが、続けられた理由の一つにあらゆることを楽しんでこられたからだと思います。

この部活が楽しい思い出だけでは決してないです。辞めたいと思ったことも何度もありました。しかし、そんな状態になっても馬に乗ったり、馬と触れ合ったりするなかで少しは軽減されていったとおもいます。ただ何よりもこの部活で楽しく過ごすことができたのは、ともに活動する同期などがいたからだと思います。なにか嫌なことがあった際に愚痴を言ったり、悩み事をきいてくれたりする人がいたことで徐々につらい思いが薄らいでいき、最終的には笑って過ごすことができていました。

この馬術部を続けてきて苦労はかなり多かったような気がしますが、何事もマイナスの感情だけではなく、できる限り楽しく捉えることで少しは耐えられてきたのではないかと思います。これから先、幾度となく大変なことがあるとは思いますが、少しはポジティブに捉えて乗り越えてこうと思います。最後になりましたが、今まで指導していただいた指導者の方々、ご支援していただいたOB・OGの皆さまありがとうございました。

『貴重な時間』

神門裕季

馬術部で過ごした時間は今思えば短く、濃密な日々でした。入学式の日、先輩が馬に乗っていた姿を見て憧れ、入部してから早4年が過ぎました。毎日早朝からの活動や体力を要する様々な作業に関してはきついと思う時が多々ありましたが、周りの人達が頑張っている姿を見たり、周囲からの支えがあったりしたからここまで続けられたのではないかと思います。大学生活は途中からコロナウイルスが流行し始めたため、一般的には人と接する機会が減り、物足りない時間を過ごしていたはずですが、私は馬術部にいたことで馬や人と関わる時間があり、充実した日々を送ることができたと思います。また、コロナ禍はOB・OGの方々や地域の方、一般の方から寄付という形でたくさんの支援を頂きました。ありがとうございました。私たちは多くの方からの応援・支援があって活動できているのだと改めて感じ、励みになりました。

私は夏大会が最後の大会となりましたが、最初の1年生選考会の時から最後の大会まで4年間ずっと清風号に関わられたのは運が良く、幸せなことだったと思います。清風号でお世話になった岩本コーチや菊池准コーチをはじめ今まで指導して下さった指導者の方々、引っ張って下さった先輩方、時間を共にした同期、支えてくれた後輩たち、応援して下さったOB・OGの方々には深く感謝しております。また未熟な私を乗せてくれた清風号をはじめとする広大の馬たちには本当にお世話になりました。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

Image Ranking

Horse ver.

賢そうな馬

- 1位 清姜 (キナイ)
- 2位 清将 (ボストン)
- 3位 清詠 (ムー)
清香 (フレーバー)
清熊 (ステラ)
清盛 (ガブ)

全てを悟った顔
をしておられる



イケメン/かわいい馬

- 1位 清風 (きなこ)
- 2位 清将 (ボストン)
- 3位 清盛 (ガブ)

LINEスタンプ
の売り上げが人気度を
物語っている

人から愛されている馬

- 1位 清風 (きなこ)
- 2位 清熊 (ステラ)
- 3位 清盛 (ガブ)

愛されおじいちゃん

できる馬

- 1位 清姜 (キナイ)
- 2位 清香 (フレーバー)
清風 (きなこ)
- 3位 コーナスフロリダ
清熊 (ステラ)
清将 (ボストン)
清天 (テンテン)



Image Ranking

Teammate ver.

#賢そうな人

- 1位 西野さん
- 2位 林さん
- 3位 菊池さん



緊張すると賢さ1/2

西野さん

#イケメン/かわいい人

- 1位 荒川さん、茜さん、竹田さん
- 2位 廣瀬さん
- 3位 神門さん、嘉数さん



竹田さん

#馬から愛されている人

- 1位 清水さん
- 2位 神門さん、林さん、
廣瀬さん、宮崎さん
- 3位 岩本さん、菊池さん、
荒川さん、白井さん

サングラス姿はトムクルーズ



茜さん

清水さん



★
スリムなフェイスラインが
ポイント

#できる人

- 1位 荒川さん
- 2位 猪熊さん、竹田さん
- 3位 岩本さん、西野さん、
内田さん、廣瀬さん、
宮崎さん、辰野さん

荒川さん



広大のエース!

担当者に聞く！各馬のチャームポイント

渋さNo.1

ボストン

- ・歴戦の風格があってカッコイイ

イケメン
No.1

ガブ

- ・見栄えする馬体と
不意に見せる可愛らしさ

慎重さNo.1

キナイ

- ・注意深く慎重！

愛されNo.1

癒されNo.1

きな子

- ・ムチムチ感、唇がぷにぷに

ステラ

- ・おじいちゃんだけど
髪がふさふさ、
鼻がぷにぷに

注目度
No.1

可愛さ
No.1

セーカ

- ・ポーっとしている時に
下唇が垂れてる?!

ムー

- ・目がクリクリ、
顔が可愛い

ギャップ
No.1

元気いっぱい
No.1

コーナス

- ・顔が可愛い、
意外と落ち着いている

テンテン

- ・若くて元気！
顔がデカイ?!

OB・OG・関係者の皆様

現在会計を務めます、3年の宮崎と申します。
日頃の皆様のご支援に、厚く感謝申し上げます。

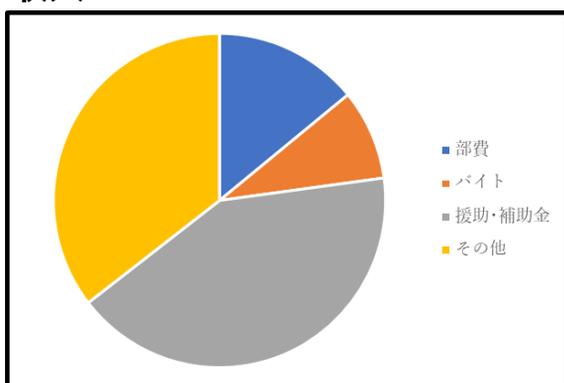
令和3年度の会計報告と共に、簡単に現在の部の経済状況を説明させていただきます。収入の部では、令和3年度では令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス流行下での部員の負担を考慮し、部費を半額にする措置を取っております。また様々な行事が感染防止を理由に行うことができず、収入は例年に比べて少ない状況となっております。

支出の部においては、飼料の高騰に伴い飼料代が嵩んでいること、また全日本学生馬術大会での輸送費など大会経費の負担が大きく、支出総額は収入総額を上回る状況となっております。会計は依然厳しい状況にありますが、OB・OG・一般の方からいただいた寄付により、馬の管理や維持ができる状態を保つことができいております。

広島大学馬術部はOB・OG・関係者の皆様のご支援のもと、日々の活動が成り立っております。今後も皆様からのご期待に添えるよう、さらに努力を重ねてまいります。何卒これからもよろしくお願い申し上げます。

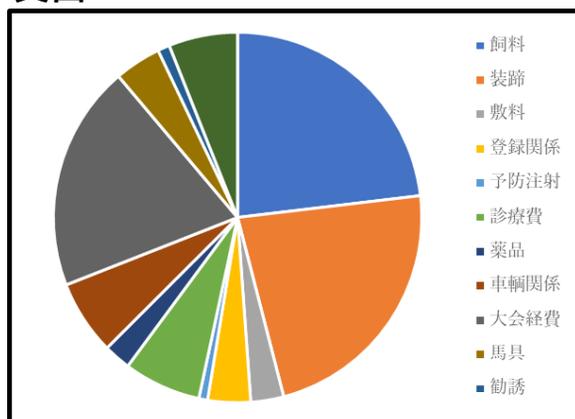
文責 令和3年度会計 宮崎 詩織

収入



部費	¥ 724,000
バイト	¥ 450,000
援助・補助	¥ 2,141,514
その他	¥ 1,823,656
収入合計	¥5,139,170

支出



飼料	¥1,189,414
装蹄	¥1,175,330
敷料	¥148,800
登録関係	¥193,192
予防注射	¥39,600
診療費	¥349,630
薬品	¥122,483
車輦関係	¥335,303
大会経費	¥1,015,261
馬具	¥210,651
勧誘	¥54,094
その他	¥311,221
支出合計	¥ 5,144,979

収入一支出 ¥ - 5,809

【清祀】

部誌によせて

部長 小櫃 剛人

新型コロナウイルスの感染状況の勢いは衰えることなく、これまでにない大きな波が猛威をふるっています。大学での活動制限は以前より緩和されているとはいえ、感染対策をとりながら、学業や課外活動へのモチベーションを保ちながら活動を続ける部員諸君、そして指導者の皆様に、敬意を表します。密な活動を、密になるのを防ぎながら行うのは、苦勞の多いことと思います。大学の授業は、対面での授業も増えてきてはいますが、様々な制約が続いています。

一方で、それに慣れてしまうことへの危惧も感じています。例えば、私が担当するある授業では、オンラインでの講義のあとに、質問や確認を対面で行う機会を設けていました。しかし、その機会を利用して参加した学生さんはごく僅かでした。予想はしていましたが、少し寂しい思いをしました。

活動制限が続く中で、多くはないかもしれませんが、積極的になれる機会を見出して、チャレンジしてもらいたいものです。

天地無用

総監督 清祀会会長 笠置 洋二

会員の皆様方におかれましては、お変わりないことと思います。新型コロナが蔓延をはじめて3年になろうとしていますが、会員の皆様や地域の皆様方にいただいたご支援のお蔭で、なんとか部活動を継続しています。部員数も増え、活動も活発化してきており、学生ともども感謝いたしております。ありがとうございます。

過日、開催されました令和4年度の中国四国学生賞典馬術大会では、お蔭様で総合優勝し、12連勝を達成することができました。（詳細は別稿に譲ります）。これも皆様のご支援なしではなし得なかったことです。感謝、感謝、感謝、です。

さて、さる5月26日、私は新馬コーナス・フロリダ（この馬は菊池コーチが調教を担当している馬ですが、週日は私が跨り常歩のみ調教の手伝いをしている）に跨り常歩をしていた……

詰め所で椅子に腰かけていると、なぜか左半身、特に左肩が異様に痛い。何かあったのかなと思いつき出したが、下馬した記憶がない。

私「体が異様に痛い、わしは落馬でもしたんか。記憶にないが」

学生「いえ、人馬転したようです。音がしたので振り向いて見ると、馬の下敷きになっていました。左足が抜けなかったのも、私が引き抜きました。」

私「そうか。どのあたりで？」

学生「照明塔の下です」

私「失神してたか？」

学生「いえ、歩いて馬場から出ながら、もう乗らんから馬を馬房に入れてくれ、と言っていました」

私「馬に怪我は？」

学生「ありません」

完全な記憶喪失です。私が馬の上に乗っていたつもりでしたが、馬が私の上に乗っていたわけです。診断の結果は、左鎖骨亀裂骨折と左半身全体打撲。

その後、この馬に乗るときはそっと「天地無用だぞ」ささやいてから乗っています。

気分のいいこともありました。医師から「この年齢でこんなに早く、骨がしっかり盛り上がってくるのは珍しい。骨はずいぶん若いね」といわれ。ルンルン気分です。

が、周りから「調子にのってはダメ、ボディプロテクターの着用は必須」といわれ、おとなしく従っています。

蒜山で感じたこと

清祀会副会長 田邊 豊晴

A f t e r コロナを模索する段階となってきましたが、日本政府（または行政全般）は慎重にかつ、ゆっくりと規制を緩和しており、他のG7諸国はほぼ規制を解除し一歩先を進んでいることを見ると、歯がゆい思いがします。

あくまで個人的感想ですが、この日本独特の思考・行動パターン（過剰な恐れ、極力リスクを避ける判断）が1990年代初頭のバブル崩壊後30年に亘っての日本経済の低迷に繋がっている気がしてなりません。

さて、今回の夏季中国・四国学生馬術大会の12連覇は凄いことだと改めて感じています。

勝ちを継続してきているので、何となく「広島大学が優勝するのが当たり前」のような雰囲気がありますが、総監督、監督、コーチ陣の皆様の献身的な支援・指導があったからこそ成し得ることができた成績です。厚くお礼申し上げます。

今回も20日（土）と21日（日）に蒜山に応援に行きました。そこで笠置総監督を介して、初めて蒜山ホースパークの原田喜市社長にご挨拶をし、お話を伺うことが出来ました。

最近作られた素晴らしい厩舎（ドイツ製のゆったりとした馬房、その前に会員が寛げるサロン、綺麗なスタッフの休憩室など）を案内いただきながら原田さんの熱い思いを聴きました。

20年以上前から、このような理想の設備や運営方式を常に頭に描きながら実現に向けて努力されてこられたとのこと。本当に感心するばかりです。

お話を伺いながら、ふと名経営者と言われる「稲盛和夫」氏が本に書かれていたことを思い出しました。

内容はこうです。

私（稲盛氏）が若い時に松下幸之助氏の公演を聞きました。公演の終わりに質疑応答があり、聴衆より「会社を強くするため自己資本を厚くしたいのですが、どのようにしたら良いのでしょうか？」と質問が出ました。これに対し幸之助氏は、「先ずは、自己資本を厚くしたいと思わなければなりません。」と答えが返ってきました。そうすると聴衆は爆笑となりましたが、私（稲盛氏）は幸之助氏の答えに深く感銘を受けました。

原田氏も同じであったと思います。オリンピックに出場されたのも、理想の馬術環境を作られつつあるのも、この熱き思いがあるからこそだと思います。

少しでも見習いたいものです。

注）稲盛和夫：京セラ、KDDI創業者、 松下幸之助：パナソニック創業者

近況報告

中国四国地区学生馬術連盟 副会長 黒木 正信

皆様、ご健勝にお過ごしのことと存じあげます。

新型コロナ感染に加わりウクライナでの戦乱で世界が激動しています。馬術部の活動に関しては、直接指導している指導者の方々にお任せして、この場は卒部生の皆様との貴重な情報交換の場とさせていただければと思います。

長渕剛がコンサートで「おかしいよ。何かがおかしい。日本は」と漏らし、会場から拍手が届いていました。イギリス・ロンドンから帰国して歌謡番組に出演した宇多田ヒカルが、歌唱前の会話の中で日本の感染対策の現状に違和感を漏らしました。事実イギリスでは8月初旬に政府により「新型コロナはインフルエンザと同じ扱い」とされ、街中の風景にはマスク着用の姿は見られません。残念ですがそうした現状の映像は大手メディア・マスコミでは報道されません。これも「何かがおかしい」一つです。7月8日の元首相の“暗殺”後、日本の政治構造が白日のもとにさらされました。日本社会の一つのタブーが打ち壊され、学生にとっても聞き覚えのある「原理研」の上部関連組織が、姿を隠せなくなっています。長年投票活動をしてきた成人にとっては、天と地がひっくり返りそんな価値観の揺れに直面しています。

近年では1991年のソ連崩壊や2008年のリーマンショックなど激震を目撃してきましたが、そうした大変革を生み出していた背景の総決算の時を迎えつつあると思われまます。皆さんはこれらの出来事をどういった時期に迎えられ、どのような関りをもたれたのでしょうか。自分は1977年に大学に入学し、その後広島県内で高校教師として勤務する中での出来事でした。当時は全貌が把握できないままに経過しました。しかし、現状の混乱は、感染症の正体やワクチン接種の人体影響力など、直接一人一人に判断が問われ、大げさではなく「命」にかかわる選択が迫られています。今まで社会に成立していた価値観は、間違いなく通用しなくなっています。世界経済フォーラム、通称ダボス会議が主導して世界で進行中の「グレートリセット」はご存じでしょうか。2030年を目途に、彼らは明確な方針と具体的目標を掲げて着々と動きを進めています。18世紀半ばの産業革命後に成立した資本主義経済は十分に成熟しました。この動きを主導してきた中心勢力（国際金融資本家）は、地球社会を“ワンワールド（NOW 新世界秩序）へと誘導し完成を目指す歴史的過程に入っているようです。その実現のための「グレートリセット」の表明です。第一次石油ショックの時期に、「ローマクラブ」という組織が『成長の限界』という著書をあらわし、石油の有限性を訴えて人類の未来に警告を発していました。自分の世代では多感な高校時代にあたり、人類の将来を見通す知性と出会えた強い共感を覚えた記憶があります。しかし、石油は枯渇しておらず、これも現在の「地球温暖化」と同じく、ある意図をもって展開されていた動きだったようです。

現在の激震の根源は、アメリカ・ドル覇権の危機にあります。あらゆる手段を駆使して、綱渡りのような「ドル防衛策」を続けたことにより、近年の事件の連鎖が起きています。9.11事件、イラク戦争、新型コロナ、ウクライナ戦争など、全て世界基軸通貨・ドルを死守するための動きと関連しています。今年秋、アメリカの中間選挙が行われ、共和党圧勝が予想されている選挙結果次第では、あらたなスイッチが入ります。馬術部に所属し、身近に馬術活動を目にしながら、これからも馬のいる風景が継続することを願います。熱中して取り組める何かは、人生の輝きの瞬間です。世界がどのように動こうと、馬がいてくれて馬上で感覚が研ぎ澄まされれば、何ものにも代えがたい至福に出会える。馬上では本物しか通用しないですから、地球の真実と同等の価値ある何かは、騎乗者の中に発見できるはずだと信じています。

草刈り

コーチ 松葉 弘将

清社会会員の皆様におかれましては、日々ご健勝にお過ごしのことと存じ上げます。新型コロナウイルスの影響がまだまだ続く中、コロナ禍での活動や大会参加等、いわゆる「ウィズコロナ」での活動にも取り組めるようになって参りました。この度の夏大会では、何人かのOB・OGの方にも蒜山での応援や厩舎で残された活動にご協力を頂き、無事大会を終え総合12連覇を達成することができました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

毎年、この春から秋にかけての時期には、厩舎においてある草刈り機を使って、厩舎周りの雑草を駆除するようにしております。今年は新入生の数も多く、また田邊副会長と広島日野自動車様のご厚意より、お話を頂いた草刈りバイトにも初めて参加させて頂いたので、例年以上に草刈りを行えたのではないかと考えています。学生時代に馬の腹の足しになればと思って、毎日取り組んでいた事が今になっても役に立っているという事は嬉しいものです。しかし、この何年か厩舎周りの雑草にも変化が見られるようになりました。私がお手伝いするようになった頃には見かけなかった、野バラのような棘のついた雑草があります。素手で触れると危険なほどですので、誤って馬が食べたり、黒ラチ沿いを蹄跡行進していた際に馬体を傷つけてしまう恐れがあると思い、見つけた場合は速やかに駆除するようにしていますが、気候が変化したのか年々数を増やしているように感じます。皆様が厩舎にお越しの際に、少しでも綺麗な厩舎をお見せし、また、馬に快適な環境を維持していくためにも、今後も時間の限り取り組んでいきます。

大切なこと

コーチ 平野 彩

広島大学馬術部の皆さま、夏季中国四国地区学生（賞典）馬術大会12連覇おめでとうございます！私が4年生の時から続く連覇ですので、年をとったことを実感します。

今年の夏は、私の担当馬（清風、清香）に乗る2名とも4年生で迎えたコロナ流行後、初の予選でした。例年、予選はソワソワ、ドキドキ、ハラハラ・・・が止まらないのですが、今年は馬の状態をベストに調整できていなかったことと、私自身が競技委員長を拝命し、人馬に集中できない場面があったこともあり、特に焦りや緊張のある大会でした。この緊張感が学生馬術の醍醐味であり、私が好きな時間でもあります。結果は別紙のとおりですが、惜しくも落馬失権してしまった神門さん。彼女は上手な騎手とは言えませんでした。4年間、日々、やるべきことを淡々とこなし、馬のお世話も手を抜かず、後輩にも信頼される部員でした。競技の結果が残せなくても、彼女の部活動や馬に対する姿勢は、馬術部に多くのことを残してくれました。きな子（清風）とごうちゃん（神門さん）と駆け抜けた4年間は私自身もコーチとして成長できた時間でした。大会の後、行きつけの美容院の方とそんなお話をしていると、馬術のことは何もご存知ないのに泣いてくれました。これからも学生馬術に関わらせていただくことを光栄に思います。

老馬の智

コーチ 岡田 佳那子

新型コロナウイルスの勢いは相変わらずですが、皆様お変わりありませんでしょうか。馬術部の活動や私の職場でも、徐々に規制が緩和されて、With コロナ時代を顕著に感じております。規制緩和を受けて、四国に行く用事のついでに有明浜ホースパークに立ち寄らせていただいたのですが、そこで広島大学馬術部のOBの方がたまに乗りに来るとスタッフ様からお聞きして、卒部後も馬に乗られている方のお話を聞けて嬉しくなりました。

今年度の夏季中四国大会でも感染には十分に気をつけ、部が一丸となって大会に臨みました。コロナウイルスと猛暑の夏となりましたが、大会前後ならびに期間中に激励にお越しいただいたOB、OGの皆様、優しいお心遣いありがとうございます。おかげさまで本年度も学生賞典大会を優勝する事ができました。

広島大学馬術部では皆様の温かいご支援のおかげで、若く元気の良いハツラツとした馬たちが在厩しております。彼らの活躍は今回の大会結果をみていただくと一目瞭然だと思えます。ここでは多くを語りませんが、人馬共にレベルアップしていく様は学生馬術の本質であり、得難い経験を我々にさせてくれています。一方で私が担当している清熊号のように、ヒト年齢に置き換えると隠居生活を送っていてもおかしくないおじいちゃん達も頑張ってくれています。この夏の暑さは老体にはきつかったようで、体調を心配する事もありましたが、元気に最後のスラローム競技まで仕事をしてくれました。思うような結果が出なかったペアもありますが、経路の中でチャレンジする準備ができていたことはこれまでの練習の成果とみんなの努力を強く感じ、失敗を残念に思う気持ちと共にチャレンジしたみんなを誇らしく思いました。

表題の「老馬の智」は『韓非子・説林上』に記載されている故事からできた慣用語です。中国の斉の国の桓公は山中で道に迷ったが、老馬を放してその後をついて行くと無事に帰る事ができたということから、老いた馬は道をよく知っていて間違った道を行くことがないように、経験を積んだ人は判断を誤らないということの例えです。

馬は私たちと共に成長していくパートナーであり、教えをくれる師です。特に下級生は老馬に学ぶ事は多いでしょう。今回のスラローム競技はそれが顕著で、清熊号がきっちりと1年生を規定タイムでゴールまで導いてくれました。学問も馬術も近道はないと痛感する今日この頃ですが、部員と清熊号と一緒にこれまで馬術部に在籍していた馬をはじめ、諸先輩方に教えて頂いた事を少しでも今の部員に伝えていければいいなと思い、日々精進してまいりますので、今後も温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

安全と挑戦のバランス

准コーチ 菊池 浩矢

2020から続くコロナ化も日常の一部として溶け込み、ある意味で身近なものとなってきました。馬術部活動においてもコロナ対策をしつつも、過剰な反応をせずに練習できるようになってきました。その結果先日の夏大会では、全体のエントリー数も回復した中、総合優勝することができました。もちろんOBOGの皆様や関係各所の皆様の御尽力のおかげで馬術部活動が続けられています。今後とも応援いただけましたら幸いです。

さて、私は昨年12月からTCCホースであるコーナスフロリダ号（以下コーナス）の調教に携わらせていただいています。コーナスは能力を感じさせてくれる馬ではありますが、性格的に走る跳ねる蹴る等の危険な行為しばしば起こしてくるため、油断できません。よって、ヘルメット・ボディプロテクター・手袋は欠かせることができません。夏大会前までは、部員を乗せて指導する際は安全のため、保守的な練習しかさせていませんでした。

しかし、保守的な練習では、夏大会の目標であるA2課目を踏み切る、を達成する練度に達することができそうもありませんでした。そこで、一週間だけ挑戦的な練習を行うことにし、部員にもリスクを説明し、同意を得ることができました。その結果ギリギリ部員二人とも踏み切ることができ、目標を達成することができました。

また、会場でのコーナスは非常に落ち着いており、部員を乗せて混雑した馬場に放り込んでも人馬ともに落ち着いており、高い可能性を感じさせてくれました。さらにトレーニング競技B, Dに馴致目的でエントリーしましたが、歴戦の乗馬のように落ち着いており、逆に物足りない気分になりました（笑）。

私は、保守的な性格なので調教・指導においても過剰に安全を気にしていましたが、意外に人間も馬もタフで挑戦することが大事なのだと感じました。今後は安全挑戦のバランスに留意しつつ人馬ともにステップアップしていけたらと思います。



菊池准コーチとコーナスフロリダ号
（蒜山ホースパーク）

【特集】千円積立基金による購入馬

近年、馬術部で導入するほとんどの馬は、千円積立基金を活用しています。会員の皆様のご協力により、安定的に新馬を導入できていることに対して、あらためて感謝の気持ちを伝えるため、ここに導入履歴や戦績、調教報告などを記します。

○導入履歴及び主な戦績

監督 木内 啓司

これまでに基金を活用して8頭の馬を導入しました。現在、在厩馬は9頭ですが、うち6頭が**基金対象馬**です。導入履歴と主な戦績（全日本学生馬術大会）は次のとおりです。

番号	馬名	愛称	種類	性別	産地	毛色	生年	入厩	離厩
96	清虎(キヨトラ)	トラ	サラ	セン	北海道	鹿	H13	H21	R01
101	清将(セイショウ)	ポストン	米サラ	セン	USA	栗	H14	H24	現
104	清姜(セイキョウ)	キナイ	サラ	セン	北海道	鹿	H20	H25	現
106	清盛(キヨモリ)	ガブ	サラ	セン	北海道	鹿	H19	H27	現
107	清凧(キヨナギ)	きな子	サラ	牝	北海道	栗	H24	H29	現
108	清香(セイカ)	セーカ・フレチャ	サラ	牝	北海道	栗	H26	H29	現
110	清円(セイエン)	マル	サラ	セン	北海道	黒鹿	H29	R03	R04
112	清天(セイテン)	テンちゃん	サラ	セン	北海道	鹿	R01	R04	現

平成23年度 三木HLP	馬場 総合	ビーインラック 清麗 清虎	竹葉千絵 帖佐幸樹 江坂俊人	2年生 3年生 2年生	45.60% 失権 失権	順位不明 調教51%耐久1番障害3反抗失権 調教46%耐久13番障害落馬失権後放馬
平成24年度 平成25年度 東京馬事公苑	馬場 馬場 総合	清麗 清麗 清悠 清麗 清虎	帖佐幸樹 竹葉千絵 櫻江祐貴 竹葉千絵 櫻江祐貴	4年生 4年生 4年生 4年生 4年生	49.64%・31位 55%・28位 46%・41位 失権 失権	
平成26年度 三木HLP	馬場 総合	清麗 清悠 清虎	大上あすみ 北山大貴 松永超堯	3年生 3年生 3年生	54.72%・30位 45.39%・39位 棄権	調教審査のみ出場
平成27年度 東京馬事公苑 ※初めて3種目出場	障害 馬場 総合	清虎 清将 清麗 清虎 清将 清麗	松永超堯 北山大貴 大上あすみ 松永超堯 北山大貴 田原千聖	4年生 4年生 4年生 4年生 4年生 4年生	失権 失権 53.83%・37位 失権 失権 失権	1走目6落下ゴール、2走目ベル前スタート失権 1走目手綱切れ失権、コンソ2落下ゴール 調教57.16%耐久7番障害累積4反抗失権 調教49.84%耐久7番障害累積4反抗失権 調教57.41%耐久7番障害累積4反抗失権
平成28年度 東京馬事公苑	障害 馬場 総合	清虎 清姜 清将 清麗 清熊 清虎	藤井啓右 佐々木やまと 宮川慧 二井岡友美 佐々木やまと 藤井啓右	4年生 4年生 4年生 3年生 4年生 4年生	完走・43位 失権 失権 52.03%・33位 49.61%・40位 失権	1走目減点2、2走目減点44も16年ぶりゴール 2反抗失権 人馬転による失権
平成29年度 三木HLP	障害 総合	清虎 清虎 清盛	加藤大輔 加藤大輔 栗原直人	3年生 3年生 2年生	失権 失権 失権	調教53.22%耐久12番障害累積4反抗失権 1走目減点35、2走目全12障害中10番障害で失権 調教46.00%耐久10番障害累積3反抗失権 調教56.00%耐久6番障害落馬失権
平成30年度 山梨県馬術競技場	障害 馬場 総合	清虎 清熊 清姜 清虎 清盛	岩田浩紀 岩田浩紀 石橋愛実 岩田浩紀 栗原直人	3年生 3年生 4年生 3年生 3年生	完走・32位 55.38% 52.19% 失権 失権	1走目減点28、2走目減点24、2年ぶりゴール 順位不明 順位不明 調教55.00%耐久8番障害後棄権 調教59.00%耐久17番障害累積3反抗失権
令和元年度 三木HLP ※総合競技団体14位	馬場 M-D 総合	清将 清姜 清将 清凧 清姜	岩田浩紀 栗原直人 岩田浩紀 岩田浩紀 菊池浩矢 栗原直人	4年生 4年生 4年生 4年生 4年生 4年生	53.90%・34位 56.20%・28位 25位 失権 完走・43位 失権	減点20 調教58.00%耐久11番障害通過後落馬失権 調教62.00%耐久1反抗余力4落下13年ぶりゴール 調教62.00%耐久9番障害累積3反抗失権
令和2年度 山梨県馬術競技場 ※大学総合21ポイント 国立大学5位	馬場 総合	清熊 清香 清凧 清将	工藤零也 才迫明日香 村田光平 荒川竜芳	3年生 4年生 4年生 2年生	52.15%・34位 失権 失権 失権	調教59.14%耐久6番障害累積3反抗失権 調教58.75%耐久15番障害累積3反抗失権 調教52.33%耐久7番障害累積3反抗失権
令和3年度 山梨県馬術競技場 ※大学総合88.5ポイント 国立大4位	障害 M-D 馬場 総合	清姜 清凧 清姜 清将 清香	工藤零也 荒川竜芳 荒川竜芳 工藤零也 西野宗一郎 荒川竜芳	4年生 3年生 3年生 4年生 3年生 3年生	棄権 8位 54.423%・29位 失権 失権 失権	尋麻疹によりドクターストップ 減点4・23人馬中 37人馬中 調教57.27%耐久3番障害累積3反抗失権 調教49.02%耐久4番b障害累積3反抗失権 調教54.01%耐久12番c障害累積3反抗失権

○総合馬育成の道II

コーチ 平野 彩

2019年の本誌にて「総合馬育成の道」と題して、担当している清風と清香のトレーニングの記録を紹介いたしました。その年、清風は大きな怪我を乗り越えて、（現在、准コーチを務める菊池くんとコンビで）14年ぶりの総合競技完走という偉業を成し遂げてくれました。その後、今日までのあゆみは皆様の知るところと思いますが、コロナウイルスの流行により十分な練習ができなかった・・・というのは言い訳で、今のところ私の総合馬育成の道は馬のポテンシャル任せのビギナーズラックで止まっています。もう1頭の担当馬である清香が実績を残してこそ、総合馬育成の道を進んでいると呼べると、日々、精進しています。

そこで、今回は清香のその後の歩みについて紹介します。清香は馬格は大きいものの飛越時の身体操作などが不器用な馬だったのですが、この1年間の「速歩飛越」や人參ストレッチが功を奏し、飛越体制が非常に安定してきました。また、天性の前進氣勢に加えて、動きにキレが出てきたことで馬場馬術でも勝負できるクオリティになってきました。昨年11月の選手権でも貸与馬として素晴らしい結果を残しました。一方でハミ受けがやや難しいこととホットになりやすいため、全国クラスに挑戦するためには騎手にもある程度の技量が求められます。まだ8歳、これからもっと良いところが伸びてくると思いますので大切に育てていきます。

そして今年、清香は荒川くんとコンビを組んで2度目の全日本学生に出場予定です。昨年は予選4位で権利を逃し、直前で枠が回ってきての滑り込みでの全日本出場でしたが、今年は馬場も1位通過で堂々と予選の権利を獲得しました！力を出し切れれば、全日本でも十分通用する人馬に仕上がっていますので、応援よろしく願いいたします。

清香遠征記録

遠征年	月	大会名	開催地	最高出場クラス
2019年	12月	X'mas HS	福岡県馬術競技場	100
2020年	3月からコロナウイルス感染拡大のため3月の春大会は中止となり、騎乗練習も禁止になった			
	9月	三木トレ	三木HLP	馴致
	9月	巡回予選	広島大学	100
	11月	全日本学生	山梨県馬術競技場	学生賞典総合 (EV90)
2021年 荒川くんと のコンビスタート	5月	中国四国大会	蒜山HP	100
	6月	岡山県HS	蒜山HP	100
	9月	三木トレ	三木HLP	馴致
	8月	中四国学生夏大会	蒜山HP	学生賞典総合 (ダービー)
	11月	全日本学生	山梨県馬術競技場	学生賞典総合 (EV90)
	12月	新人戦	広島大学	クロス 初心者の障害練習もばっちり！
2022年	3月	中四国学生春大会	広島工業大学	100
	5月	中国四国大会	蒜山HP	110 (やっとクラスアップ)
	6月	岡山県HS	蒜山HP	110 (安定して走行できるように)
	7月	三木トレ		馴致+EV80レベルのコース走行
	8月	中四国学生夏大会	蒜山HP	学生賞典総合 (ダービー)
	9月	総合講習会 ホーストライアル	三木HLP	馴致+EV90レベルのコース走行
	11月	全日本学生	三木HLP	学生賞典総合 (EV100)

【会員の皆様より】

2022 復活の年

清祀会関東支部長 上原昇二

夏季中四国大会12連覇を達成されたとのこと、誠におめでとうございます。コロナ禍と猛暑の中で現役の皆様、指導者の皆様、地元のOBOGの皆様本当にご苦労様でした。

12年前と言えば小生が57歳で早期退職して路頭に迷っている頃でした。11年前には契約社員で医療機器関連に再就職、4年前には派遣社員で半導体検査機器、3年前にはシルバー人材で検体搬送と順調？に働き続けて来ましたが、新型コロナが流行り始めてせつかくの仕事を辞めてしまいました。昨年からは馬にほとんど跨らなくなり、運動不足のせいか眼病や膝痛が悪化してしまいました。

私にとって仕事と乗馬（あえて馬術とは言いません）は車の両輪のようなもので、片輪だけでは調子が出ません。運が良ければ今秋から測定器関連の仕事に就けるかもしれません。膝痛は整形外科での治療と脚体操、関節のストレッチなどのお陰で改善に向かっています。

現役の皆さんの頑張りを見習って今年も車の両輪を取り戻すべく頑張ろうと思っています！

写真は1974年の茨城国体の余力審査（清翠号）。2006年のサマーホースショー（ミラージュ号）、2016年の妻の都民大会（モンブラン号）です。

夫婦そろってもうすぐ70歳、加齢に負けずコロナに負けず、復活を目指します。



1974年 茨城国体 清翠号

2006年 サマーホースショー（小淵沢）
ミラージュ号



2016年 都民大会（馬事公苑）
モンブラン号
全日学大会の露払いのつもりで
妻が頑張りました

2022年 復活予定です！

世界初公開！人馬一体の骨格標本

清祀会九州支部長 岩淵 英司



今春、北九州市立いのちのたび博物館（自然史歴史博物館）で「まるごとウマ展—ウマと人のキズナー」という特別展が開催されました。この展示会のために作成された世界初の人馬一体骨格標本が展示されているということで見学に行きました。

馬の骨格は山口大学共同獣医学部で哺乳類の歩行や走行などの移動様式を研究されている和田直己教授に、人の姿勢はJRAの武豊騎手に監修していただいたということです。サラブレッドの全身をCT撮影して、走行時の写真にCTデータから3次元構築した骨を配置した資料を基に作成されたそうです。

馬が背骨をそらし前肢と後肢を伸ばして、できるだけ移動距離を伸ばそうとしている時の馬と騎手の姿勢を表した骨格標本。武豊騎手の腰を浮かし下げて空気抵抗や馬への負担を抑制している姿もそのままです。鐙にかかると足は斜め下を向いています。

もうひとつの驚きは、イランで出土した紀元前10世紀頃の銜（ハミ）です。銜は骨や木で作られていたものが、より丈夫な青銅、そして鉄へと素材が変わっていきました。はじめは一本棒の形状が約3千年前には現状のものと同じく中央でつなげる（ジョイント型）形になっていたそうです。おもしろい展示会だったのでミニ報告でした。



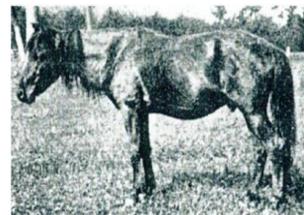
バロン西ノウラヌス号とその時代

昭和46年卒部 藤本 恭史

ここに一冊の興味深い本がある。題名『富国強馬』（著者：武市銀次郎）。明治維新から太平洋戦争で敗北するまでの馬事行政が多くの資料を通じて詳述されている。

大変興味深いので私見を挟みながら概要を紹介したい。

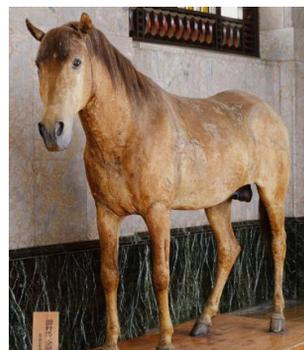
明治11年（1878）のパリ万博に当時の日本を代表する南部馬の優俊2頭が出展された。体高は135cm前後。この2頭は欧州各国の興味を強く引き『ぜひ売って欲しい』と複数のオファーが来たという。我が国の馬匹の優秀性が証明されたと関係者は大層喜んだであろうことは容易に想像できる。



しかしありようは「欧州でも昔はこのような馬もいたが今は絶滅した。

まことに動物学上有益な研究資料である」だったそうだ。

明治維新を迎えて何もかも大慌てで日本は近代化を急いだのであるが、その過程で明治32年清国で起こった義和団の乱によって、日本は開国以来初めて欧州先進国の連合軍と協力して大陸で共同作戦を行うことになる。連合軍の主力は日本とロシアであり、なかんずく日本兵の精強さは高く評価された。しかし馬の評価はひどいもので、『日本軍は馬のような恰好をした猛獣を使用している』と連合軍のレポートで酷評される始末だった。何しろ欧州の馬は船倉に窮屈に詰め込まれてもおとなしくしているが、日本の馬は馬添いが悪くたちまち大喧嘩をはじめ危険極まりなかったのである（一因として日本人は去勢に消極的だった）。



金華山号 明治天皇の御料馬
伊達藩の支倉常長が欧州から持
帰った馬の子孫と南部馬を交配
したものとされている。

やがてロシアとの関係が不穏になって戦争不可避の見通しとなってきたとき、満州を戦場にするなら軍馬が圧倒的に不足している問題が浮上した。富国強兵として産めよ増やせと大合唱したが、急ぐのは兵隊だけでなく軍馬（騎兵用と輜重隊の輓馬）も“富国強馬”を目指して東北地方を主産地として官民一体となって猛烈な努力をしてきた。

右は明治期における種牡馬数の推移表（抜粋）だ。これを見ると輸入馬と雑種の種牡馬（輸入馬と国産馬の交配）の数が異様に増加し、反面在来種の種牡馬の割合が激減していて、いかに当時は国を挙げて馬の改良に取り組んでいたかがわかる。

	事件	輸入種 (%)	雑種 (%)	在来種 (%)
明治 24 年		93 (2%)	291 (5%)	5033 (93%)
明治 27 年	日清戦争	64 (1%)	376 (9%)	3802 (96%)
明治 32 年	義和団	104 (2%)	1610 (27%)	4200 (71%)
明治 37 年	日露戦争	324 (6%)	3257 (66%)	1382 (28%)
大正 10 年		1682 (43)	2170 (56%)	52 (1%)

そのように懸命に努力してきた馬匹改良だったが、しかし日露戦争で秋山好古初代騎兵隊長率いる日本の騎兵隊は敵のコサックに出くわすと全然勝負にならないために、下馬して馬を窪地に避難させておいて地上戦で対応したという（司馬遼太郎「坂の上の雲」）。

こうして軍馬の質はかなり改良されたものの、馬匹改良の手綱は依然として緩めることはできず大正、昭和も引き続き懸命の努力が続けられた。

昭和に入ってそれらの努力がついに大輪の花を咲かせることになる。西中尉とウラヌス号がその象徴だ。馬匹改良が本格化した日清戦争からわずか45年後の快挙だった。

馬匹改良に一番効果的なのは競馬で競争することだ、と馬が好きな明治天皇の発言があったことなどで千葉県の下総御料牧場と岩手県の小岩井農場が熾烈な繁殖競争を長期にわたって続けた。

そんな中習志野騎兵隊に入ってきた西竹一少尉は入隊時から非凡な才能を見せたようで、昭和7年（1932）ロサンゼルス大会の大殊勲はウラヌス号と出会ったからという幸運ばかりではなかったようだ。その証拠に4年後のベルリン大会（昭和11年）で彼はアスコット号に騎乗して総合馬術に挑戦した。特筆すべきはこのアスコット号は小岩井農場で産出された国産サラブレッドなのだ。当然調教も西大尉を含む日本チームで育てた。この馬が総合馬術で50頭中12位の堂々たる成績を収め、チーム成績も6位入賞（9ヶ国中）という輝かしい成績を収めた。しかしこのことは多くの国民は知らない。なぜなら前回は金メダルだったのに6位では国民の士気に影響するからとして発表しなかったのである（注）。

この昭和10年前後は間違いなく日本馬術界が世界の頂上に駆け上っていたことを証明している。遊佐幸平、城戸俊三、今村安氏など高名な馬術家の多くはこの時代に活躍し、西／ウラヌス号を裏方で支えていたのだろう。そのことの象徴として西／ウラヌス神社が建立されていてもおかしくないと思えるところ、ウラヌスは馬事公苑で亡くなったのに実際には埋葬場所も不明なのである（関連記述：广大馬術ハンドブック中級編“はじめに”参照）

せめてウラヌスの遺骨は掘り出し、記念碑を建てて西／ウラヌスの活躍に応えたいものである。

あれだけ馬匹改良に務めてきた日本だが、太平洋戦争後はかつての輝きを完全に失ってしまった。何もしてこなかったことの原因の一つに『お金の力でメダルが取れるなら結構なこと』と馬術界のある重鎮の発言があったことは見逃せることではない。

四半世紀を無為に過ごした後、1968年（昭和43）メキシコオリンピックから帰国した千葉幹夫を中心に馬匹改良を再開するべく機運が盛り上がった。彼がメキシコに連れて行った総合馬術馬のジョセフィン号（牝）を繁殖用として遠野市に提供して事業がスタートした。

千葉幹夫の構想では日本人の体格にあった体高160cm前後が普通のセルフランセのような比較的小柄な中間種の血を固定する長い時間のかかる仕事のはずだった。そのため国立施設が望ましかったが希望はかなわず民間施設での起業となった。

由来、馬匹改良事業は国家的事業でないとうまくいかないようだ。イギリスでもサラブレッドを誕生させたのは英王室だったわけで、営利事業とは掛け離して取り組むべき事業なのである。

民間団体では景気に強く左右され、生産しても売れなくては話にならない。生産者は経費の圧迫で不満が募り、購買者は“勝てる馬”を欲しがるので血の固定にはほど遠い現実が待っていた。そして地方競馬が廃止の方向になったのも遠野市の馬の里の経営に逆風となって、改めて国立乗馬学校の設立を目指し千葉は孤軍奮闘したが彼には人生の時間が不足して夢ははかなく散ってしまった。

昨今の五輪の成績を見ると障害系はあと一息のところまできているものの、純馬術に関するレベルは戦前と変化していない。これは金権馬術のつけであることが要因の一つであると思われる。

西中尉のころから現代に亘って世界レベルに近いのは障害系に限られ純馬術系は相変わらずさっぱり振るわない。遊佐さんの時代は国威発揚のために総合馬術だけが突出して重要視された。純馬術に焦点を合わせてみると遊佐幸平さんであつても世界と比すと見劣りする。どうも日本人は純馬術は根本的に何か見落としたまま取り組んできているように見える。原因としてはいろいろ考えられようが、もっとも欠落しているのはRelaxationの理解が浅すぎることに尽きるように思う。これについては狩猟民族と農耕民族の違いで説明が試みられた事もあるが、そのほか日本には仏教用語で”畜生”という世界もある。それらが絡み合つて現在の立ち位置となつていているように思われる。

(注) 競馬も始まつて間もない頃であつたし、何よりも対ロシアとの中で国威発揚こそが第一目標であつた。アスコット号は現代でいえば高額すぎてとても乗馬界に身を置くことはないが、当時は国威発揚の掛け声の中で優俊間違いないこの馬を乗馬界に投入できたのだ。従つて現代でも例えばG1レースを走るような優俊が馬術界に投入されればオリンピックに臨んでも潜在能力そのものは世界のトップクラスに伍すると思われる。

伊藤義明君を偲んで

昭和50年卒部 山田 一徳

昭和45年に広大に入学し千田町の大学本部をうろついていたら、馬術部の勧誘に出会つた。それまで3年間岩国高校で弓を引いていたから、大学も弓道部に入ろうと思つていたが、『生きた馬』に触るといふあまりに強いインパクトで瞬間に心変わりした。

同期の新入部員はざつと20名余り。最初の春の草刈り合宿で、OB会の景政会長が『この中で卒部していく者は一割もいない。』と言われて皆で顔を見合わせたものだ。

馬に乗る練習は楽しかつたが、佐東町までバスで1時間かけて通ひ、毎日リヤカーを引いての草刈りと週に1回(2年生からは週に2回となつた)の泊まり込みの当番は肉体的にきつた。さらに男子部員はRCCの報道部泊まり込みの部アルバイトも週1回あり、時間的には大学生活の大半が馬術部員を維持するために費やされた。

しかし自分には別のところに大きな悩みがあつた。ボロの臭いである。馬房掃除の時はいつもエズいて涙ぐむこともしょつちゅうであつた。馬は好きでもあのボロの臭いだけはやりきれなかつたのである。入部して半年余りは大変なところに入つたと密かに後悔していたのだ。

当時の広大には比較的関西と中四国からの出身者が多く、伊藤義明も山口県熊毛町出身だつた。同じ山口県内でも岩国とはあまりつながりがない地域だが、なんとなく同県人という意識はあつた。

最初に伊藤を強く意識したのはボロ運びの作業のときだつた。フォークをもつて嬉しそうにボロ山を掻き回してしている奴がいる。ちょっと信じられない光景だつた。全然気持ち悪そうな素振りがない。それどころかどう見ても楽しんで作業している。うーん、世の中には俺とは違ふ種類の間があるのだ。

その後伊藤は、様々などんでもないことをやり続けた。力仕事はいつも先頭に立つて張り切つていた。後には自転車馬場に通う荒業も見せた。郊外バスを使つても1時間かかる距離を自転車に通うのである。行く時はまだいい、疲れて

ないし空も明るい。しかし帰りは練習・作業で疲れた上に、夜道である。それでも1年くらいは続けたようだ。

最上級生になってみると、景政予言の通り伊藤と自分の2人しか残っていなかった。

最後の西日本大会（今の中四国大会）で伊藤は清翠号の中障害で、自分は清流号の学生賞典と選手権で優勝した。もちろん広大はダントツの団体優勝である。

学生選手権全国大会の一次予選を通過したとき、馬事公苑の公衆電話から広大馬術部に電話したら、丁度伊藤が出てたいそう喜んでくれた。

卒業後はそれぞれの道に進んだが、伊藤は故郷の障がい者福祉施設に就職した。

だいぶ経って2、3回くらい職場で伊藤先生に会ったことがある。相変わらず元気そのもので、職場の大人気者のようだった。毎日ランニング（ジョギングではない）をしているとのことで、昔以上の鉄人の体だった。なんかの折に岩国乗馬クラブに生徒を何人か連れてきたことがある。本人も何十年かぶりに馬に跨っていた。姿勢は学生時代と変わっていなかった。

8月1日に伊藤の奥さんからハガキが届いた。7月22日というからほんの1週間前のことだ、就寝中の脳梗塞で意識なく昇天したとのことであった。直前まで体調はすこぶる健康であったようで、日頃はどこの病院にもお世話になっていなかったとのこと。

そういう年回りになっていたんだと、伊藤が教えてくれた。

俺たちは、今年で馬術部入部53年目にあたる。



最後までご覧頂きありがとうございました
皆様の益々の御多幸をお祈り申し上げます。

広島大学体育会馬術部一同

